西東京市市民協働推進センター

令和４年度第５回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：令和４年 12 月 20 日(火)午後７時 00 分～８時 00 分
■開催場所：オンライン開催（Zoom）
■出席委員：佐藤委員、柴委員、柳委員、樋口委員、久松委員、樋口委員、森谷委員 <以上７名>
■事 務 局：小松センター長、鈴木副センター長、小口福祉活動推進課長、中澤地域福祉推進係長

1.報 告 事 項

1．事業報告について

事務局より、10-11 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談について説明があった。

委員長：新規の登録団体が２団体あるが詳しく聞きたい。

事務局：西東京不登校情報ネットワークハートラインにしとうきょうは子どもの不登校に関する悩みや関心を持つ個人・団体が、学び、情報交換することで、悩んでいる子どもや保護者を支える力を地域に育んでいくことを目的とした団体です。無料塾「保谷いちご塾」は経済的な困難を抱える家庭の子ども達に、勉学の取り組み方や充分な学力が習得できるように学習支援を行う団体で、２月開講に向け現在動いている状況です。会社員の女性の方が代表で相談事業でも報告しているが、助成金の取り方等ゆめこらぼとしてできる事で伴走している。

委員長：不登校の団体が増えてきていると感じているので、つながったら良いのかとも思う。保谷いちご塾はこれから始めるという事だが、対象の年齢はあるのか。

事務局：中高生を対象としている。

委員長：必要な方がいればつなげたい。

委　員：新規で登録している団体は新たに作ったのか、以前から活動している団体がゆめこらぼに初めて登録するのが多いのか。

事務局：ここ何年かは新しく団体を作ったので、登録したいという団体が多い。センター長が市へ団体を立ち上げる際はゆめこらぼにもつなげて欲しいと説明している。市から活動団体の相談があればゆめこらぼを紹介するなど、つながる機会が増えたのではないかと思う。広報が少しずつ行き届いてきているようだ。

委　員：ゆめこらぼの活動がより浸透してきた感じがある。

事務局：市でも市民活動団体を始めるにあたり相談に来た団体に対し詳しく説明が出来ない部分もあるため、市民活動をするのであればゆめこらぼにも行くよう説明している。

2．12 月以降の事業について

事務局より、12 月以降の実施事業について説明があった。

委員長：NPO 市民フェスティバルについて詳しく聞きたい

事務局：参加団体数だが展示 32 団体、３分動画 33 団体、21 日と 22 日のみ配信の団体紹介動画には５団体が参加している。初めての企画としてまちめぐり動画を実行委員主体で作成しこちらも 21 日と 22 日のみ配信を予定している。22 日からアスタビジョンに CM 動画が流れる。

委員長：21 日と 22 日のみの配信もあるので楽しみにしている。運営委員の皆さんも是非見逃すことが無いようお願いする。

3．第三者評価について

事務局より、第三者評価（評価シート）について説明があった。

委員長：やらなければいけないことがたくさんある中でコロナ禍であるにも関わらず、変化に応じて進化しているという印象を受けた。人材配置の事が解決すると良い。

2．審　議　事　項

1．前回の会議録について

委員長：意見が無ければ確定稿とする。

3．協　議　事　項

1．センターの業務の執行に関する事項について

事務局より、令和５年度運営委員（案）について説明があった。

委員長：運営委員の推薦案等あれば事務局へ知らせて欲しい。全体を通して、質問や意見はないか。

委　員：コミュニティラジオの成果などシンポジウムの感想など聞きたい。

事務局：１２月５日に総務省主催のシンポジウムに参加した。コミュニティ FM 放送局を使って地域をつなぐというテーマで、FM 西東京が奇数月第三土曜日に生放送で行っている地域の情報を地域の方が地域に伝えるコンセプトの番組が総務省の目に留まり出演した。ラジオ番組の説明となぜコミュニティ FM 放送局を使って番組を立ち上げたのかを話した。北は北海道、南は沖縄までコミュニティラジオ局の方が多く参加していた。どうやって自分たちの足元にある小さな周波数を使って地域をつないでいくのか、自分たちの地域でも事例として使えるのではないかと意見があった。とても評判は良かったようだ。

委員長：ゆめこらぼがみんなに知り渡ると市民活動もしやすくなるので頑張って欲しい。

4．そ　の　他

1．次回運営委員会日程について

日時：2 月 21 日（火）19 時～20 時

会場：オンライン Zoom